

内科・外科・小児科・リハビリテーション科
乳がん(マンモグラフィ) 検診・健康診断・下肢静脈瘤
K.Clinic こうち医院
周南市東山町2番41号 TEL:0834(34)3456

日刊新周南
THE DAILY NEW SHUNAN

2025年(令和7年) 7月11日(金)
第19959号
発行所/新周南新聞社
〒745-0802 周南市栗屋二葉屋開作1035-18
電話(0834) 26-0303 FAX(0834) 26-0155
購読料/3,300円/月(本紙価格3,056円/消費税244円)
ホームページ <http://www.shinshunan.co.jp>
Eメール info@shinshunan.co.jp

周南

山口県桜ヶ丘高バドミントン部

女子が悲願のインターハイ出場



左から末安選手、河村選手



インターハイを掴んだ女子選手と西本剛顧問

男子は河村選手、末安選手

周南市の山口県桜ヶ丘高(熊安洋校長)のバドミントン部が女子学校対抗戦と男子シングルス・ダブルスで、8月4日(月)から山口県で開催される全国高等学校総合体育大会(インターハイ)のバドミントン競技大会に出場する。同校のバドミントン部は1995年に同好部として創部され、98年に男子部に昇格、02年に女子部が創設された。山口県で開かれる今年のインターハイ出場を大きな目標としてきた。

高がある。桜ヶ丘高もこれまでインターハイには勝ち進んで、今ま県予選で準優勝を9回、第3位を5回獲得するほどの実力校。県予選は無失点で決勝まで勝ち進んで結果は2位。開催地枠として悲願のインターハイへの出場権を手にした。男子の部では河村匠悟選手(3年)が県予選で優勝し、シングルスで2年連続出場。バドミントン部を理由に桜ヶ丘高へ進学し、昨年のインターハイ出場時には「次のインターハイで勝てる経験を積むため、末安晟汰選手とダブルスでも全国へ挑む。」と意気込みを語っていた。

山口県桜ヶ丘高等学校 バドミントン部 インターハイ出場選手		
女子学校対抗戦 メンバー		
氏名	学年	出身中学
羽山 結月	3	周南市立太華中
松村 美南	3	防府市立佐波中
安田 小葉	3	山口市立鴻南中
野田 結愛	2	周南市立富田中
徳本 舞	2	下松市立末武中
久野 結愛	2	下松市立下松中
羽山 心陽	1	周南市立太華中
井上 美穂	1	柳井市立柳井中
男子		
河村 匠悟	3	下松市立末武中
・シングルス(2年連続)・ダブルス出場		
末安 晟汰	3	山口市立平川中
・ダブルス出場		